



発行：「NAGASAKI・1945～アンゼラスの鐘～」製作を支援するナガサキの会 TEL.090-3604-2301(里) FAX.095-849-7131(三根)
製作委員会長崎事務局/長崎県映画センター 〒850-0024 長崎市大井手町24番地 TEL095-824-2974 FAX.824-2958

「製作を支援する会」この1年を振り返り盛大に祝賀会！

「アンゼラスの鐘」製作を支援するナガサキの会は10月14日長崎新聞文化ホールにて、製作支援にご賛同ご支援いただいた各界の方々を含め120名のご出席をいただき、完成記念の祝賀会を盛大に行いました。朝長副会長の開会あいさつを受け、土山会長が主催者挨拶をされ、来賓として県知事の祝辞を田中副知事が、長崎市長の祝辞を岡田収入役が代読、続いて長崎商工会議所の松藤会頭にご挨拶をいただきました。

また製作委員会からは関西プロデュースセンターの寺島代表、虫プロダクションの伊藤社長他が製作の遅れのお詫びと



横瀬理事長(長崎市平和推進協会)の音頭で乾杯！

作品の今後の展開について、

支援のお礼と英語版製作へのさらなる協力をお願いを行い、製作スタッフを代表して有原監督から挨拶がありました。

この間約30分、ご参加いただいた皆さまに立っていただくこととなりご負担を掛けた方もおられたのではないかと恐縮しながらの祝賀会が始まりました。

会の終盤、この10月14日は1年前に「支援する会」が発会した日ではありますが、13年前には、秋月辰一郎医師がIPPNW長崎支部の会議を終えた直後に倒れられた日でもあります。主催した「支援する会」から、この13年間看病を続けられているすが子夫人を労い、有原監督の手より花束の贈呈がありました。



有原監督のことは聞くすが子夫人

西陵高校新聞部が被爆60周年特集で紹介！

西陵高校新聞部は県内の高等学校新聞コンクールで5年連続最優秀賞の実績を持ち、全国コンクールでも優秀賞を受賞しています。

新年度早々、被爆60周年企画としてこの映画の取材をと、顧問の先生が事務局を訪ねて来られました。丁度2回目の総会を控えていたタイミングも重なり、総会に出席した生徒さん達は早速、朝長教授や秋月すが子さんに取材の約束を取っていましたが、この度完成した9月30日付けの「西陵高校新聞」第31号10ページ立てをいただきました。

「被爆をどう語り継ぐか」として5ページで構成されていますが、特集1の西陵生へのアンケートで長崎への原爆投下の「年・月・日」の正答率約5割の見出しに驚きました。次のページで、秋月すが子さんへ被爆当時の様子や秋月先生のことなどをインタビューし、朝長教授に放射線被爆の実態と現状など60年の時間を捉えようとした丁寧な取材と、写真や図表がうまくレイアウトされ、ビシッと決まった見開きの大見出しが力強く迫ってくる紙面です。

